

アンカーネット  
ワークサービス

月間30tをリサイクル

リサイクル率は99%

## パソコン再資源化事業で

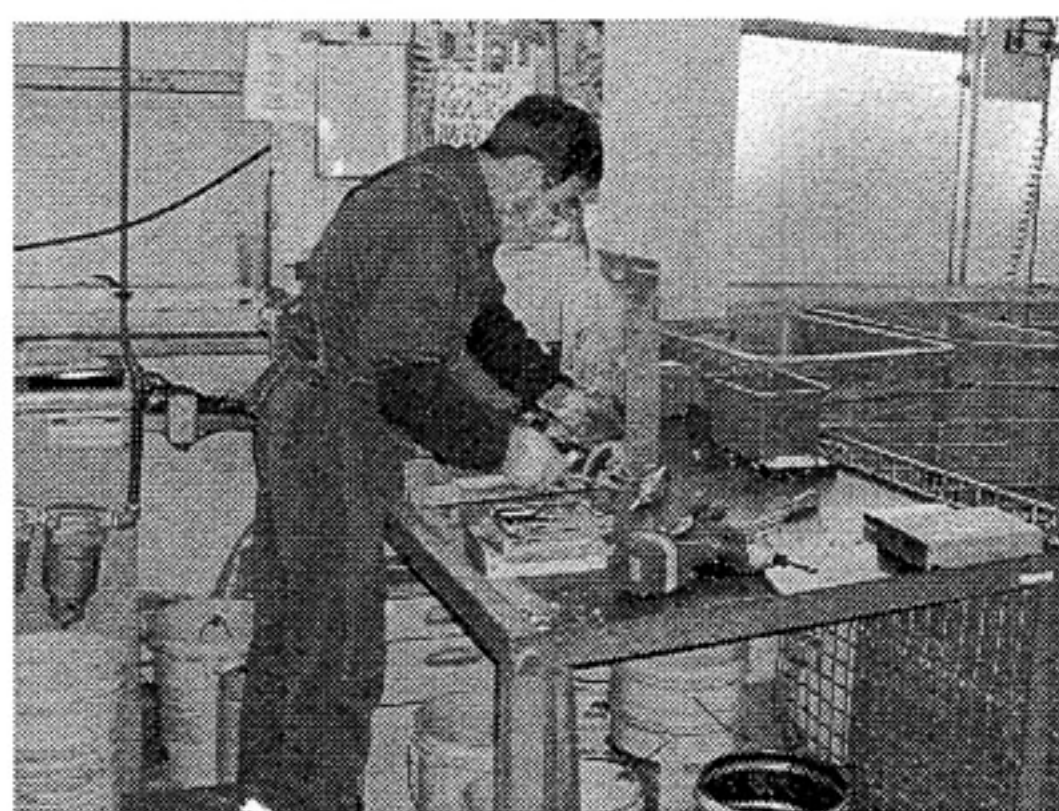
アンカーネットワーク

サービス(東京・葛飾、

碓隆司社長、☎03・3

600・5873)のり

5605)



解体作業

ルを行う。

アンカーネットワーク

サービスで収集運搬した

OA機器などはエコライ

ンステーションで審査し

て重量を計り廃棄物とし

て中間処理を行うものは

1日1便4トトラックで

マニフェスト伝票と共に

松戸工場へ運ばれる。運

ばれてきた中間処理物件

は松戸工場で処理解体さ

れる。

液晶は枠を取り除き、

解体され液晶パネルとし

てインチごとに分けられ

る。パソコン本体は分解

しマザーボードはアル

ミ、鉄などを剥がすこと

により金の含有率が上が

る。ねじの一本一本まで

しっかりと分解すること

でリサイクル品目を増や

すことができ、最後まで

再素材品として生かすリ

サイクルを行う。

基板を剥がした後のハ

ードディスクは専用機械

にかけ4カ所に穴をあけ

た後、アルミ等の素材と

して再販する。廃プラス

チック(ABS樹脂)は松

戸工場にある破砕機で破

砕する。フロッピーディ

スク、ソフト系は個人情

報のため顧客から要望が

あれば破砕する。分別し

た物の販売はドライブ類

・メモリー、モーターフ

ァン、電源、CPU、液

晶、鉄、非鉄金属、プラ

スチック、ケーブル、ハー

ネス類、基板等は1案件

ごとにグラム単位で毎日

記録しバーコード化して

すべて本社であるアンカ

ネットワークサービス

で入札にかけられる。ユーザ

ーからの依頼物件をバー

コード化して管理するこ

とにより入荷数と販売数

のラインを把握できるの

で、ユーザーから預かっ

た製品のラインが見え、

随時報告が可能のため信

頼を得る事ができる。

残さ処理はリサイクル

が困難なため、最終処分

場に運搬して処分する。

碓社長は「命の定義は、

生まれ、生まれ、何かの

役に立ち、どのステージ

にあっても力の限り生き

ることが出来る権利を帯

びている者も物も同じ命

と考えられる」と述べて

いる。同社は、その一旦、

役目を終えた命でも次に

ある望まれるステージへ

と自ら、仕分け、選別、

付加価値を付け、また力

の限り、活躍できる場所

に環境や安全や経済に考

慮し適正に一つひとつ誘

導する仕組みを構築して

いる。

今後は販売先にも廃棄

物がどのようになってゆ

くのか分かる仕組みを

構築したいとしており、

ISMSの取得を視野に

いれている。